プログラム 9月18日（土）

第1会場　3F ロイトンホール（A・B）

8:40～8:50　開会挨拶・会長講演

PL　The future is here
宇原 久（札幌医大）

9:00～11:00　シンポジウム 1【薬疹】

座長：阿部 理一郎（新潟大）
末木 博彦（昭和大名誉教授）

SY1-1　SJS/TEN の疫学調査から見えてきたこと
末木 博彦（昭和大名誉教授）

SY1-2　重症薬疹の治療
阿部 理一郎（新潟大）

SY1-3　分子標的薬（抗がん剤）による皮膚障害
芦田 敦子（信州大/臨床研究支援センター）

SY1-4　減感作と脱感作の考え方と実際
山口 正雄（帝京大ちば総合医療センター第三内科（呼吸器））

11:10～12:10　招待講演 1

座長：斎田 俊明（信州大名誉教授）

IL1　From melanocytes to melanoma
Boris C. Bastian（Helen Diller Family Comprehensive Cancer Center/University of California, San Francisco）

12:10～12:20　記念写真撮影、次期会長挨拶

15:45～16:45　スペシャルコンサート

木村 弓（歌、ライアー）
中川 俊郎（ピアノ）

19:20～19:40　札幌医大デルマトアンサンブル演奏会

第２会場　2F エンプレスホール

9:00～11:00　シンポジウム２【感染症】

座長：山本 明美（旭川医大）
山﨑 修（岡山大）

SY2-1　薬剤耐性と外用抗菌剤
山﨑 修（岡山大）

SY2-2　皮膚感染症における内服抗菌薬の使い方
内田 秀昭（帝京大）

SY2-3　重症感染症を見逃さないために
沢田 泰之（東京都立墨東病院）

SY2-4　皮膚感染症のトリビア～本当に感染症なのか？～
浅井 俊弥（浅井皮膚科クリニック 神奈川県横浜市）

12:20～13:20　ランチョンセミナー１【新剤形ドボベット®フォーム登場―新剤形を外用療法にどう生かすか―】

座長：飯塚 一（札幌乾癬研究所）
本間 大（旭川医大国際医療支援センター）

LS1-1　フォーム剤に秘められた可能性～剤形の違いで効果が変わる？～
伊藤 宏太郎（伊藤皮膚科 大分県杵築市）

LS1-2　乾癬治療のセカンドエフォート～ドボベット®フォームのポジショニングとは？～
菅井 順一（菅井皮膚科パークサイドクリニック 栃木県宇都宮市）

共催：レオファーマ株式会社/協和キリン株式会社

13:30～14:30　招待講演２

座長：宇原 久（札幌医大）

IL2　プレゼンテーション Zen～シンプルプレゼンのテクニック～
Garr Reynolds（関西外国語大英語キャリア学部）

14:35～15:35　教育講演１【母斑】

座長：肥田 時征（札幌医大）
八田 尚人（富山県立中央病院）

EL1-1　遺伝性皮膚疾患と遺伝カウンセリング
櫻井 晃洋（札幌医大遺伝医学）

EL1-2　「母斑」という言葉、その由来と意味するところ
村田 洋三（神戸市立医療センター中央市民病院）

16:55～17:55 教育講演 2【行動経済学】

座長：大塚 篤司（近畿大）
安田 正人（群馬大）

EL2-1 医療×行動経済学＝患者さま視点を貫く
江口 有一郎（ロコメディカル総合研究所）

EL2-2 行動経済学の使い方―皮膚科編―
大塚 篤司（近畿大）

18:05～19:05 イブニングセミナー 1【What's Next in Psoriasis?】

座長：鳥居 秀嗣（東京山手メディカルセンター）
森田 明理（名古屋市立大）

ES1-1 CLCI、乾癬診療における未解決の課題
遠藤 幸紀（東京慈恵会医大柏病院）

ES1-2 追求すべき 2 つの寛解、深寛解＆心寛解
伊藤 圭（JR 札幌病院/北海道大）

共催：アッヴィ合同会社

第 3 会場 2F リージェントホール

9:00～10:10 一般演題 1【皮膚炎、アレルギー、アトピー】

座長：伊藤 泰介（浜松医大）
菅 裕司（札幌医大）

O-1 デルゴシチニブ軟膏―アトピー性皮膚炎患者を対象とした皮膚バリア機能に及ぼす影響の検討―
安部 正敏[1,2]、飯塚 一[2]、長谷部 育恵[1,2]、椛島 健治[3]、根本 治[1]
[1]廣仁会札幌皮膚科クリニック 北海道札幌市、
[2]廣仁会豊水総合メディカルクリニック 北海道札幌市、[3]京都大

O-2 アトピー性皮膚炎患者皮膚から単離培養される黄色ブドウ球菌のゲノタイプ解析
野村 彩乃[1]、小幡 祥子[1]、八代 聖[1]、関口 文世[1]、川崎 洋[1,2]、種瀬 啓士[1]、
久恒 順三[3,4]、荒井 千夏[4]、于 連升[3,4]、菅井 基行[3,4]、天谷 雅行[1]
[1]慶應義塾大、[2]理化学研究所生命医科学研究センター皮膚恒常性研究チーム、
[3]国立感染症研究所薬剤耐性研究センター、[4]広島大薬剤耐性学講座

O-3* オルミエント錠が有効であったアトピー性皮膚炎の 3 例
古橋 卓也、大林 三裕佳、中村 賢人
春日井市民病院

O-4　プロバイオティクス製剤が有効と考えられたニッケル（Ni）による全身型金属アレルギーの 1 例
森 ひとみ、林 周次郎、森 智史、池上 徹栄、齋藤 友紀、山内 瑛、岡本 麻希、井川 健
獨協医大

O-5　カバノキ科・キク科花粉症を有する患者に発症したセリ科スパイスアレルギーの 2 例
勝家 志歩[1]、翠川 央高[1]、御子柴 飛鳥[1]、木庭 幸子[1]、奥山 隆平[1]、宮嵜 敦[2]
[1]信州大、[2]みやざき皮フ科クリニック 長野県諏訪市

O-6　ヒマワリの種による即時型アレルギーの 1 例
大西 友理、丸山 彩乃、水谷 浩美、服部 淳子、井岡 奈津江、峠岡 理沙、加藤 則人
京都府立医大

O-7*　母趾潰瘍を伴った好酸球増多症の 1 例
上井 貴絵、加賀 麻弥、竹内 博美、岩原 邦夫
江東病院

O-8*†　環状、連圏状を呈し汗孔角化症と鑑別を要した貨幣状湿疹
高橋 拓矢、芳賀 貴裕
気仙沼市立病院

10:10〜11:05　一般演題 2【水疱症】

座長：泉 健太郎（北海道大）
遠藤 雪恵（群馬大）

O-9†　紅皮症を来した水疱性類天疱瘡の 1 例
鈴木 紗也佳、出口 登希子、酒井 あかり、土田 裕子、勝海 洸司、阿部 理一郎
新潟大

O-10†　LAD-1 に対する IgG 抗体を検出した DPP-4 阻害薬関連水疱性類天疱瘡
谷 直実[1]、山田 七子[1]、石井 文人[2]、橋本 隆[3]、山元 修[1]
[1]鳥取大、[2]久留米大、[3]大阪市立大

O-11†　DPP-4 阻害薬と関係なく発症した全長型抗 BP180 抗体陽性水疱性類天疱瘡
山本 豊貴[1]、中田 侑宏[1]、鈴木 大介[1]、泉 健太郎[2]
[1]公立昭和病院、[2]北海道大

O-12*　抗 PD-1 抗体の投与終了 1 年 3 か月後に発症した水疱性類天疱瘡の 1 例
加古 志織、澤田 啓生
名古屋市立大西部医療センター

O-13*　Brunsting-Perry 型後天性表皮水疱症の一例
後藤 芽以子、廣保 翔、大霜 智子、峯 麻子、林 大輔、橋本 隆、鶴田 大輔
大阪市立大

O-14* アムロジピンによる顆粒状 C3 皮膚症の 1 例
川口 純之介[1]、新井 陽介[1]、角田 孝彦[1]、橋本 隆[2]
[1]山形市立病院済生館、[2]大阪市立大

O-15 線状 IgA 水疱性皮膚症と診断されてから 7 年後に壊疽性膿皮症を生じた 1 例
菊池 信之、松村 奈津子、本多 皓、花見 由華、山本 俊幸
福島県立医大

12:20～13:20 ランチョンセミナー 2【炎症性皮膚疾患アップデート】

座長：佐伯 秀久（日本医大）
今福 信一（福岡大）

LS2-1 化膿性汗腺炎・壊疽性膿皮症の治療戦略～外科的治療との使い分けと注意点～
山田 勝裕（秋田大）

LS2-2 炎症性皮膚疾患治療開発の最新情報 Update
山﨑 研志（東北大）

共催：アッヴィ合同会社

13:35～15:35 シンポジウム 3【食物アレルギー】

座長：矢上 晶子（藤田医大ばんたね病院総合アレルギー科）
澄川 靖之（すみかわ皮膚科アレルギークリニック/札幌医大）

SY3-1 『食物アレルギー診療ガイドライン 2021』改訂に向けて
海老澤 元宏（相模原病院臨床研究センター）

SY3-2 食物アレルギーにおける他科との連携
矢上 晶子（藤田医大ばんたね病院総合アレルギー科）

SY3-3 食物アレルギー～検査の手順と実際～
澄川 靖之（すみかわ皮膚科アレルギークリニック 北海道札幌市/札幌医大）

SY3-4 成人の食物アレルギー ―魚介類を中心に―
中村 陽一（横浜市立みなと赤十字病院アレルギーセンター）

16:55～17:55 スイーツセミナー 1【つなぐ乾癬治療】

座長：茂木 精一郎（群馬大）
氏家 英之（北海道大）

SS1-1 明日から実践! 中規模病院で始める乾癬バイオ 2021
田口 詩路麻（水戸協同病院）

SS1-2 乾癬治療においてそもそも生物学的製剤は 10 剤必要なのか？
安部 正敏（札幌皮膚科クリニック 北海道札幌市）

共催：サンファーマ株式会社

18:05～19:05 イブニングセミナー２【かゆみの治療戦略】

座長：奥山 隆平（信州大）
中原 剛士（九州大）

ES2-1 カユミに対するセカンドエフォート～抗ヒスタミン薬使用の工夫とは？～
菅井 順一（菅井皮膚科パークサイドクリニック 栃木県宇都宮市）

ES2-2 痒みをともなう皮膚疾患に対する抗ヒスタミン薬投与方法の工夫を考える
谷崎 英昭（関西医大）

共催：田辺三菱製薬株式会社/帝國製薬株式会社

第４会場 2F ハイネスホール

9:00～10:05 一般演題３【悪性黒色腫 1】

座長：高塚 純子（新潟県立がんセンター）
吉川 周佐（静岡県立静岡がんセンター）

O-16 悪性黒色腫患者を対象としたニボルマブ術後補助療法：CheckMate 238 試験４年フォローアップ日本人サブ解析
山﨑 直也[1]、内 博史[2]、横田 憲二[3]、古賀 弘志[4]、吉川 周佐[5]、板倉 英潤[6]、Maurice Lobo[6]、Jeffrey Weber[7]
[1]国立がん研究センター中央病院、[2]九州大、[3]名古屋大、[4]信州大、[5]静岡がんセンター、[6]Bristol-Myers Squibb、[7]NYU Langone Perlmutter Cancer Center

O-17† 悪性黒色腫における PD-L1 発現の検討
米田 大介、加藤 潤史、神谷 崇文、堀本 浩平、佐藤 さゆり、澤田 匡秀、箕輪 智幸、宇原 久
札幌医大

O-18 ニボルマブ投与 11 ヶ月後に汎ぶどう膜炎を来した悪性黒色腫の１例
佐藤 洋平[1]、小林 英資[1]、慶野 博[2]、大山 学[1]
[1]杏林大、[2]杏林大眼科

O-19 遅発性の免疫関連大腸炎を生じた右大腿悪性黒色腫の１例
佐藤 友利[1]、大西 正純[1]、中川 倫代[1]、角田 加奈子[1]、天野 博雄[1]、春日井 聡[2]
[1]岩手医大、[2]岩手医大消化器内科

O-20 免疫チェックポイント阻害薬（ICI）にて複数の免疫関連有害事象（irAE）を認めた右母趾悪性黒色腫の１例
田中 了[1]、草野 峻[2]、下田 将司[2]、宮地 禎幸[3]、白河 俊一[4]、仁科 惣治[5]、稲垣 充亮[1]、中塚 万莉[1]、青山 裕美[1]
[1]川崎医大、[2]川崎医大糖尿病・代謝・内分泌内科、[3]川崎医大泌尿器科、[4]川崎医大脳神経内科、[5]川崎医大肝胆膵内科

O-21* 進行期鼻腔悪性黒色腫に対する抗 PD-1 抗体により心筋炎、重症筋無力症を発症し、死亡した 1 例
山口 文太郎、石月 翔一郎、梅田 善康、上村 杏奈、川原 祐、寺本 由紀子、
中村 泰大
埼玉医大国際医療センター

O-22 肛門部にみられた悪性黒色腫の 1 例
阿部 倫大、岩下 宣彦、渡辺 大輔、足立 和規、松村 卓樹
愛知医大

10:05～11:00 一般演題 4【悪性黒色腫 2】

座長：上原 治朗（がん・感染症センター都立駒込病院）
藤澤 康弘（筑波大）

O-23† 悪性黒色腫に対するダブラフェニブ・トラメチニブ併用療法と血清 CK 値上昇についての検討
藤澤 康弘、中村 貴之、石塚 洋典、田中 亮多、石月 翔一郎、丸山 浩、乃村 俊史
筑波大

O-24 進行期悪性黒色腫に対するダブラフェニブ・トラメチニブ術後補助療法：多施設共同後ろ向き研究
藤村 卓[1]、武藤 雄介[1]、神林 由美[1]、加藤 裕史[2]、松下 茂人[3]、前川 武雄[4]、福島 聡[5]、
吉野 公二[6]、内 博史[7]、藤澤 康弘[8]
[1]東北大、[2]名古屋市立大、[3]鹿児島医療センター、[4]自治医大、[5]熊本大、[6]都立駒込病院、
[7]九州がんセンター、[8]筑波大

O-25 免疫療法が無効でダカルバジンが奏効した末端黒子型黒色腫（ALM）の 1 例
田口 良吉[1]、斎藤 聡一郎[1]、菅井 奏良[1]、高橋 彩[1]、寺木 祐一[1]、鈴木 興秀[2]、
福田 知雄[1]
[1]埼玉医大総合医療センター、[2]埼玉医大総合医療センターゲノム診療科

O-26 悪性黒色腫として加療した小児耳介に生じた Spitz melanoma の一例
伊東 可寛[1]、中村 善雄[1]、八代 聖[1]、小川 夕貴[1]、後藤 啓介[2]、天谷 雅行[1]、舩越 建[1]
[1]慶應義塾大、[2]大阪国際がんセンター病理・細胞診断科

O-27 小型の先天性色素性母斑より生じた有茎性悪性黒色腫の 1 例
金谷 璃菜、脇 裕磨、遠藤 幸紀
東京慈恵会医大柏病院

O-28* 巨大型先天性色素細胞性母斑上に生じた悪性黒色腫の 1 例
木村 温子[1]、原田 研[1]、寺田 明莉[1]、村井 正隆[1]、北村 英夫[1]、長島 弘明[2]
[1]青森県立中央病院、[2]長島皮フ科クリニック 青森県青森市

12:20～13:20 ランチョンセミナー３【進行期 *BRAF* 陽性メラノーマにおける薬物療法】

座長：爲政 大幾（大阪国際がんセンター）
清原 祥夫（静岡県立静岡がんセンター）

LS3-1 *BRAF* 陽性メラノーマにおける薬物療法 up to date
内 博史（九州がんセンター）

LS3-2 *BRAF* 活性型変異陽性の進行期メラノーマの治療戦略
―実臨床における BRAF 阻害薬＋MEK 阻害薬の使用経験を含めて―
木庭 幸子（信州大）

共催：小野薬品工業株式会社

13:35～14:35 一般演題５【感染症】

座長：清水 聡子（市立札幌病院）
廣﨑 邦紀（北海道医療センター）

O-29 免疫低下状態の患者に生じた *Exophiala jeanselmei* による黒色菌糸症
内田 梢太[1,2]、和泉 純子[1]、出口 登希子[2]、矢口 貴志[3]、阿部 理一郎[2]
[1]長岡中央総合病院、[2]新潟大、[3]千葉大真菌医学研究センター

O-30† 左下肢に病変が多発したブルーリ潰瘍の１例
吉川 未雪[1]、六戸 大樹[1]、相樂 千尋[1]、中野 創[1]、澤村 大輔[1]、阿戸 学[2]、佐藤 晴香[3]、堀江 咲織[3]、矢島 晴美[3]
[1]弘前大、[2]国立感染症研究所ハンセン病研究センター、[3]能代厚生医療センター

O-31*† 多形紅斑型皮疹を呈した紅斑熱群リケッチア感染症の１例
福地 健祐[1]、北内 裕里恵[1]、丸山 千明[1]、糟谷 啓[1]、増井 友里[1]、本田 哲也[1]、榎本 紀之[2]
[1]浜松医大、[2]浜松医大呼吸器内科

O-32 *Mycobacterium stephanolepidis* による皮膚抗酸菌症が疑われた１例
岩澤 億斗、軽部 大希、岡田 寛文、神谷 浩二、前川 武雄、小宮根 真弓、大槻 マミ太郎
自治医大

O-33 *Mycobacterium abscessus* による皮膚抗酸菌症
沈 竟卉、岡田 寛文、神谷 浩二、前川 武雄、小宮根 真弓、大槻 マミ太郎
自治医大

O-34 免疫再構築症候群（IRIS）として下肢に発症した *Mycobacterium chelonae* 感染症
稲垣 充亮[1,2]、山本 剛伸[1,2]、青山 裕美[2]
[1]川崎医大総合医療センター、[2]川崎医大

O-35* 排尿障害と麻痺性イレウスを合併した高齢者の帯状疱疹の１例
野中 一輝、岡本 麻希、吉田 愛、長岡 さゆこ、森 ひとみ、權守 隆、林 周次郎、井川 健
獨協医大

14:35～15:35 一般演題 6【乾癬】

座長：小川 英作（信州大）
松﨑 康司（弘前大）

O-36† CARD14 変異に伴う炎症経路の解析とそれに基づく治療が奏功した 1 家系
宮内 俊成[1]、岩田 浩明[1]、羽賀 直哉[1]、Jin Teng Peh[1]、夏賀 健[1]、小林 仁[2]、
乃村 俊史[1,3]、氏家 英之[1]
[1]北海道大、[2]小林皮膚科クリニック 北海道札幌市、[3]筑波大

O-37 心房中隔欠損症に対する経カテーテル的欠損孔閉鎖術後に軽快した掌蹠型乾癬の一例
須貝 達朗[1,2]、岩田 浩明[1]、中村 裕之[2]、廣上 貢[3]、齊院 康平[4]、岩野 弘幸[4]、氏家 英之[1]
[1]北海道大、[2]市立釧路総合病院、[3]手稲渓仁会病院循環器内科、[4]北海道大循環器内科

O-38 BCG 接種を契機に全身に多発した乾癬様皮疹の 1 例
森下 ナオミ、中澤 慎介、本田 哲也
浜松医大

O-39 Duralumab 投与後、乾癬の皮疹増悪をきたした 1 例
服部 由季、井汲 今日、森田 明理
名古屋市立大

O-40 透析導入後に悪化した乾癬性紅皮症に対してセクキヌマブが奏功した一例
柴田 知之[1]、武藤 潤[1]、内田 理美[1]、大嶋 雄一郎[1]、宮谷 和男[2]、渡辺 大輔[1]
[1]愛知医大、[2]名古屋東クリニック 愛知県長久手市

O-41 グセルクマブが奏効したアロポー稽留性肢端皮膚炎の 1 例
山本 博紀、岡田 寛文、神谷 浩二、前川 武雄、小宮根 真弓、大槻 マミ太郎
自治医大

16:55～17:55 スイーツセミナー 2
【今後のアトピー性皮膚炎治療：かゆみコントロールによる長期寛解維持の実現】

座長：川上 民裕（東北医科薬科大）
島田 眞路（山梨大学長）

SS2-1 今一度振り返る、アトピー性皮膚炎の治療戦略～問診から治療まで～
田中 暁生（広島大）

SS2-2 アトピー性皮膚炎のかゆみのメカニズムから考える、最新の治療戦略
石氏 陽三（東京慈恵会医大）

共催：マルホ株式会社

18:05～19:05 イブニングセミナー３【アトピー性皮膚炎のこれからに迫る】

座長：山本 明美（旭川医大）
川村 龍吉（山梨大）

ES3-1 アトピー性皮膚炎の病態
乃村 俊史（筑波大）

ES3-2 アトピー性皮膚炎治療の新たな選択肢～コレクチム®軟膏の使い方～
天野 博雄（岩手医大）

共催：鳥居薬品株式会社

第５会場 2F クリスタルルーム A

9:00～10:00 一般演題７【肉腫】

座長：紺野 隆之（山形大）
秦 洋郎（はた皮膚科スキンケアクリニック）

O-42 毛細血管拡張性運動失調症（Ataxia Telangiectasia）に合併した隆起性皮膚線維肉腫の１例
小林 愛里、水芦 政人、山﨑 研志、相場 節也
東北大

O-43 自然消退した undifferentiated pleomorphic sarcoma の１例
大熊 崇生[1]、古舘 禎騎[1]、小林 愛里[1]、杉浦 利一郎[1]、土山 健一郎[2]、橋本 彰[1]、相場 節也[3]
[1]東北大、[2]名取つちやま皮ふ科 宮城県名取市、[3]医療法人松田会松田病院 宮城県仙台市

O-44† 多発肺転移を伴う右心房原発血管肉腫に対し化学放射線同時併用療法および原発切除術にて部分奏効を得た１例
小山 明日実[1]、永井 幸司郎[1]、向川 早紀[1]、尾松 淳[1]、三宅 知美[1]、山下 尚志[1]、宮川 卓也[1]、木下 修[2]、安藤 政彦[2]、小野 稔[2]、佐藤 伸一[1]
[1]東京大、[2]東京大心臓外科

O-45 前立腺癌術後のリンパ浮腫に伴って生じた Stewart-Treves 症候群の１例
遠藤 麻衣、石崎 莉子、大塚 幹夫、山本 俊幸
福島県立医大

O-46 頭部血管肉腫に対してパゾパニブを使用した２例
下村 麻衣子、満間 照之、花井 有里子、村上 めぐみ、明石 憲佳、磯部 里香子
一宮市立市民病院

O-47* パクリタキセル（PTX）休止後に再燃を繰り返した頭部血管肉腫の一例
村田 壱大、齊藤 亨、林 昌浩、鈴木 民夫
山形大

10:00～11:00　一般演題 8【膠原病】

座長：沖山 奈緒子（筑波大）
藤山 俊晴（浜松医大）

O-48　遮光のみで経過をみている Lupus erythematosus tumidus の男性例
奥澤 愛美、端本 宇志、藤本 典宏、佐藤 貴浩
防衛医大

O-49†　ヒドロキシクロロキン（HCQ）が有効であった頭部脱毛斑を生じた皮膚エリテマトーデス（LE）の 2 例
紺野 隆之[1]、伊藤 義彦[2]、鈴木 民夫[1]
[1]山形大、[2]明石医院 山形県山形市

O-50*　抗 ds-DNA 抗体陽性が判明した papular mucinosis の 1 例
稲村 衣美、藤田 靖幸、宮本 航大、須貝 達朗、真屋 由佳、清水 聡子
市立札幌病院

O-51　蝶形紅斑様の皮疹がみられた抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎の 1 例
武田 芳樹、堺 則康、乃木田 礼佳、村松 正法、吉田 雅絵、山本 真実、前 賢一郎、原田 和俊
東京医大

O-52†　皮膚筋炎特異的自己抗体抗 nuclear matrix protein 2（NXP2）抗体の測定系の有用性に関する検討
市村 裕輝、小西 里沙、乃村 俊史、沖山 奈緒子
筑波大

O-53　シェーグレン症候群患者に生じた限局性 AL アミロイドーシスの 1 例
大澤 香奈[1]、木庭 幸子[1]、日根野 晃代[2]、加藤 修明[2]、奥山 隆平[1]
[1]信州大、[2]信州大脳神経内科、リウマチ・膠原病内科

12:20～13:20　ランチョンセミナー 4【皮膚 T 細胞性リンパ腫】

座長：天野 正宏（宮崎大）
戸倉 新樹（中東遠総合医療センター、浜松医大名誉教授）

LS4-1　ベキサロテンを用いた皮膚 T 細胞リンパ腫の治療
宮垣 朝光（聖マリアンナ医大）

LS4-2　日本人患者に対するベキサロテン治療のエビデンス
濱田 利久（高松赤十字病院）

共催：株式会社ミノファーゲン製薬

13:35～14:45 一般演題 9【血管炎、脂肪織炎】

座長：石井 良征（筑波大）
小松 成綱（旭川厚生病院）

O-54 抗ホスファチジルセリン・プロトロンビン複合体抗体による皮膚血管炎動物モデルの完成

川上 民裕[1]、田村 宥人[2]、董 宇鵬[1]、吉成 未来[2]、西端 友香[2]、益田 紗季子[2]、
外丸 詩野[3]、石津 明洋[2]
[1]東北医科薬科大、[2]北海道大大学院保健科学研究院病態解析学分野、
[3]北海道大分子病理学

O-55 Crohn 病に発症した Ustekinumab 投与に伴う蜂窩織炎様臨床像を呈した白血球破砕性血管炎の 1 例

山本 悠、相場 節也、藤村 卓
東北大

O-56* 胃癌に合併した難治性 IgA 血管炎の 1 例

高橋 千晶[1]、澁谷 貴史[2]、山本 明美[1]、京極 典憲[3]、田中 崇倫[4]
[1]旭川医大、[2]岩田皮膚科 北海道札幌市、[3]北見日赤病院外科、[4]北見日赤病院消化器内科

O-57 再燃を繰り返す IgA 血管炎に対し扁桃摘出術を行った小児例

鎌田 啓文[1]、後藤 真紀[1]、井上 剛[1]、三浦 慎平[1]、渡辺 彩乃[1]、渡部 大輔[1]、
天野 博雄[1]、石川 健[2]
[1]岩手医大、[2]岩手医大小児科

O-58 膵体尾部腫瘍の診断契機となった皮下結節性脂肪壊死症の 1 例

守井 茅[1]、黒沼 亜美[1]、青木 周平[1]、森須 祥子[1]、橋本 由起[1]、宅間 健介[2]、崔 仁煥[3]、
石河 晃[1]
[1]東邦大、[2]東邦大消化器内科、[3]三光クリニック蒲田駅前院 東京都大田区

O-59* デュピルマブ投与中に発症した結節性紅斑の 2 例

堀江 琴音[1]、安田 健一[2]、石氏 陽三[2]、勝田 倫江[2]、朝比奈 昭彦[2]
[1]東京慈恵会医大葛飾医療センター、[2]東京慈恵会医大

O-60 若年女性の肉芽腫性乳腺炎に合併した結節性紅斑の 1 例

北風 光平[1]、市橋 匠[2]、笠松 宏至[1]、尾山 徳孝[1]、長谷川 稔[1]
[1]福井大、[2]市立敦賀病院外科

O-61 妊娠中に肉芽腫性乳腺炎を合併した結節性紅斑の 1 例

中島 香緒里、大橋 洋之、貴志 有紗、宮野 薫、武藤 真悠子、竹内 そら、
宮垣 朝光、門野 岳史
聖マリアンナ医大

14:45～15:35　一般演題 10【肉芽腫】

座長：鎌田 麻子（砂川市立病院）
橋本 喜夫（旭川厚生病院）

O-62*　皮膚生検によって消失した間質型環状肉芽腫の 1 例
高橋 千晶[1]、飯沼 晋[2]、山本 明美[1]、橋口 淳一[3]
[1]旭川医大、[2]北見日赤病院、[3]北見日赤病院血液内科

O-63*　小児の肉芽腫性口唇炎の一例
中野 尚美、神谷 浩二、前川 武雄、小宮根 真弓、村田 哲、大槻 マミ太郎
自治医大

O-64　顔面播種状粟粒性狼瘡と考えた小児に外陰部にも皮疹を認めた 1 例
草野 美沙希、髙田 満喜、松村 奈津子、山本 俊幸
福島県立医大

O-65†　顔面播種状粟粒性狼瘡における、病変部の M1、M2 マクロファージ優位性と治療反応性との関連
石川 真郷、山本 俊幸
福島県立医大

O-66　急性リンパ性白血病の地固め療法中に発症した Nonlipidized Adult Xanthogranuloma
和田 昇悟[1]、齊藤 真貴子[2]、三浦 圭子[3]、並木 剛[1]
[1]東京医科歯科大、[2]東京医科歯科大血液内科、[3]東京医科歯科大病理部

O-67*　Multicentric reticulohistiocytosis の 1 例
熊谷 史子、能登 舞、野口 奈津子、長井 拓哉、山川 岳洋、河野 通造
秋田大

16:55～17:55　日本皮膚科学会　専門医指導医講習会

座長：石河 晃（東邦大）
佐山 浩二（愛媛大）

指導医 1　新専門医制度のこれまでとこれから
石河 晃（東邦大）

指導医 2　新専門医制度における専門医資格更新
佐山 浩二（愛媛大）

18:05～19:05　イブニングセミナー 4
【患者視点の乾癬 BIO 治療―皮膚・関節症状のマネジメント―】

座長：五十嵐 敦之（NTT 東日本関東病院）
村上 正基（愛媛大）

ES4-1　乾癬治療におけるブロダルマブの立ち位置と導入のポイント
西本 周平（川崎市立川崎病院）

ES4-2　乾癬性関節炎の治療にあたって注意すべきポイントと IL-17 受容体阻害の有用性
柳田 英寿（宇多野病院リウマチ・膠原病内科）

共催：協和キリン株式会社

第 6 会場　2F クリスタルルーム B

9:00～9:55　一般演題 11【壊疽性膿皮症、慢性膿皮症、膿疱症】

座長：藤田 靖幸（市立札幌病院）
柳澤 健二（札幌厚生病院）

O-68†　難治性の多発壊疽性膿皮症にアダリムマブが奏効した 1 例
中村 杏奈[1]、結城 明彦[1]、島田 奏[1]、武居 慎吾[1]、勝見 達也[1]、鈴木 丈雄[1]、
阿部 理一郎[1]、川田 雄三[2]、横山 純二[2]、杉野 英明[3]、加藤 卓[3]、梅津 哉[3]、三井田 博[4]
[1]新潟大、[2]新潟大消化器内科、[3]新潟大病理部、[4]新潟県立新発田病院

O-69　壊疽性膿皮症に皮膚動脈炎が合併した 1 例
山本 美友貴[1]、渡邊 幸奈[1]、森 龍彦[1]、山本 俊幸[1]、岩月 啓氏[2]、陳 科榮[3]
[1]福島県立医大、[2]福島労災病院、[3]目黒陳皮膚科クリニック 東京都品川区

O-70†　Trisomy8 陽性骨髄異形成症候群に合併した陰茎壊疽性膿皮症の 1 例
横山 彩乃[1,2]、濱 菜摘[1]、筒井 由夏[1]、平山 香菜[1]、結城 大介[1]、加畑 雄大[1]、
酒井 あかり[1]、阿部 理一郎[1]、吉澤 優太[3]、柴崎 康彦[4]、木村 浄土[2]、鈴木 隆晴[5]、
関 義信[5]
[1]新潟大、[2]魚沼基幹病院、[3]新潟大腎・膠原病内科、[4]新潟大血液内科、
[5]魚沼基幹病院血液内科

O-71*　アダリムマブ使用により手術範囲を縮小できた慢性膿皮症の 1 例
明石 憲佳、小泉 遼、磯部 里香子、下村 麻衣子、村上 めぐみ、花井 有里子、
満間 照之
一宮市立市民病院

O-72*†　アダリムマブによる病勢コントロールの後、二期的再建を実施した化膿性汗腺炎の 1 例
織田 晃央[1,2]、前田 拓哉[1]、北村 真也[1]、柳 輝希[1]、岩田 浩明[1]、氏家 英之[1]
[1]北海道大、[2]小樽市立病院

O-73　小児の好酸球性膿疱性毛包炎と診断した 1 例
髙田 満喜[1]、山本 俊幸[1]、三浦 貴子[2]
[1]福島県立医大、[2]南やのめ皮膚科クリニック 福島県福島市

9:55～11:00　一般演題 12【その他 1】

座長：遠藤 元宏（JCHO 北海道病院）
菅野 恭子（旭川医大）

O-74　病診連携にて治療導入が効果的に行えるようになった乳児血管腫のまとめ
磯部 里香子、明石 憲佳、下村 麻衣子、村上 めぐみ、花井 有里子、満間 照之
一宮市立市民病院

O-75　Paget-Schroetter 症候群の 1 例
武内 直生、増田 容子、熊谷 宜子、林 良郎、山崎 將典、横山 知明
静岡市立清水病院

O-76　脊髄刺激療法にて疼痛が激減した両下腿カルシフィラキシスの 1 例
中村 賢人[1]、大林 三裕佳[1]、古橋 卓也[1]、柴田 純平[2]
[1]春日井市民病院、[2]藤田医大麻酔科

O-77†　入浴時にタオルで行う皮膚洗浄の中止はそう痒を軽減する：99 例の後ろ向き解析
宮澤 元、佐藤 英嗣、瀬尾 拓志
帯広厚生病院

O-78*　眼瞼腫脹を呈した IgG4 関連疾患の 1 例
海野 俊徳[1]、古賀 弘志[2]
[1]諏訪赤十字病院、[2]信州大

O-79†　肺癌が発見された強皮骨膜症の 1 例
則川 菜摘、佐藤 真由、山本 俊幸
福島県立医大

O-80†　円形脱毛症患者の Quality of Life に関する前向き調査
伊藤 泰介[1]、亀井 数正[2]、湯淺 晃[2]、松本 文博[2]、吉井 規敏[2]、能登 真一[3]
[1]浜松医大、[2]ファイザー株式会社、
[3]新潟医療福祉大医療福祉学研究科保健学専攻作業療法学

12:20～13:20　ランチョンセミナー 5【爪白癬治療～外用療法のストラテジー～】

座長：河野 通浩（秋田大）
鈴木 民夫（山形大）

LS5-1　爪白癬治療 「外用療法」という選択肢
下山 陽也（帝京大溝口病院）

LS5-2　爪白癬治療のベストチョイス―外用療法を選択すべき病型とは―
原田 和俊（東京医大）

共催：科研製薬株式会社

13:35～14:35　スポンサードレクチャー【アトピー性皮膚炎治療の現在と未来を展望する】

座長：宮地 良樹（京都大名誉教授、静岡社会健康医学院大学長・理事長）
片山 一朗（大阪大名誉教授、大阪市立大）

SL-1　アトピー性皮膚炎の病態理解の変遷
三井 広（山梨大）

SL-2　アトピー性皮膚炎治療の変遷
室田 浩之（長崎大）

共催：サノフィ株式会社

16:55～19:00 日本皮膚科学会　キャリア支援委員会企画
メンター＆メンティーの相談会（M＆M）

キャリアアップを考える～サブスペシャリティの見つけ方～
東部支部ワーキンググループ
岸部 麻里（旭川医大）、伊藤 明子（ながたクリニック）、菅 裕司（札幌医大）、
能登 舞（秋田大）、皆川 智子（弘前大）、矢口 順子（山形大）

第７会場　2F クリスタルルーム C

9:00～10:00 一般演題 13【遺伝性疾患】

座長：中野 創（弘前大）
小宮根 真弓（自治医大）

O-81† 優性遺伝形式で発症し変動性紅斑角皮症の臨床像を示した SAM 症候群
井川 哲子[1]、松尾 梨沙[1]、岸部 麻里[1]、山本 明美[1]、久保 亮治[2]
[1]旭川医大、[2]慶應義塾大

O-82† 顔面の丘疹より診断に至った結節性硬化症の成人例
中尾 恵美[1]、井上 舞[1]、平松 功太郎[1]、稲川 紀章[2]、蒲原 毅[1]
[1]横浜市立市民病院、[2]二俣川駅前皮ふ科 神奈川県横浜市

O-83† 両口角に疣状丘疹を来した Cowden 病
山下 あや、赤坂 英二郎、中野 創、澤村 大輔
弘前大

O-84* ウェルナー症候群の 1 例
高橋 美帆[1]、土橋 人士[1]、村山 豪[2]、池田 志斈[1]
[1]順天堂大、[2]順天堂大膠原病・リウマチ内科

O-85 気胸を契機に診断された血管型 Ehlers-Danlos 症候群の一例
吉田 愛[1]、林 周次郎[1]、石岡 佳子[2]、田坂 定智[2]、井川 健[1]
[1]獨協医大、[2]弘前大呼吸器内科

O-86† 家族歴を持ち *NOD2* 遺伝子解析にて診断した Blau 症候群
三澤 恵、牧野 輝彦、清水 忠道
富山大

10:00～11:00 一般演題 14【その他 2】

座長：熊谷 綾子（札幌医大）
馬場 俊右（岩手医大）

O-87 巨大内頚動脈瘤に対する母血管塞栓術後に発症した Trigeminal trophic syndrome の一例
薬袋 里彩、木下 真直、島田 眞路、川村 龍吉
山梨大

O-88† 若年女性に発症した White fibrous papulosis of the neck（WFPN）の 1 例
平山 愛里彩、唐川 大、山口 貴子、福地 修、遠藤 幸紀
東京慈恵会医大柏病院

O-89 治療経過観察にダーモスコピーが有用であった線状扁平苔癬の 1 例
安田 健一、延山 嘉眞、朝比奈 昭彦
東京慈恵会医大

O-90 背部に生じた硬化性苔癬の 1 例
舘脇 恩[1]、高橋 美乃里[1]、高見澤 美月[1]、津村 協子[1]、善家 由香理[1]、中野 敏明[1]、新井 達[1]、上出 良一[2]
[1]聖路加国際病院、[2]ひふのクリニック人形町 東京都中央区

O-91 右腋窩有棘細胞癌 stage4 の 1 例と癌性疼痛に対する最適なオピオイド選択
影嶋 優香子[1]、水嶋 章郎[2]、稲田 英一[1]
[1]順天堂大麻酔科学、[2]順天堂大緩和医療学

O-92 超高齢者皮膚悪性腫瘍患者への治療計画
影嶋 優香子[1]、水嶋 章郎[2]、稲田 英一[1]
[1]順天堂大麻酔科学、[2]順天堂大緩和医療学

12:20～13:20 ランチョンセミナー 6
【アトピー性皮膚炎におけるメンタルケアの実践～明日からやってみよう！メンタルケア～】

座長：片桐 一元（獨協医大埼玉医療センター）
末木 博彦（昭和大名誉教授）

LS6-1 病院でおこなう心身医学的アプローチ
堀 仁子（市立旭川病院）

LS6-2 クリニックでおこなう行動科学的アプローチ
檜垣 祐子（若松町こころとひふのクリニック 東京都新宿区/藤田医大アレルギー疾患対策医療学講座）

共催：大塚製薬株式会社 メディカル・アフェアーズ部

14:35～15:35 東部支部企画「研修医、学生からみた皮膚科」

チューター：夏賀 健（北海道大）
岸部 麻里（旭川医大）

※東部支部の各大学推薦による事前登録制です。
当日のご参加はお受けできません。

16:55～17:55　スイーツセミナー３【皮膚科における MTX の適正使用】

座長：井川 健（獨協医大）
山﨑 研志（東北大）

SS3-1　乾癬治療における患者満足度の向上には何が大切か？
～患者コミュニケーションと地域連携を考える～
高橋 英俊（高木皮膚科診療所 北海道帯広市）

SS3-2　乾癬治療における MTX の適正使用と患者指導
常深 祐一郎（埼玉医大）

共催：ファイザー株式会社

18:05～19:05　イブニングセミナー５【最新メラノーマ治療～実臨床はどう変わったか～】

座長：藤村 卓（東北大）

ES5-1　メラノーマに対する術後補助療法、いままでとこれから
加藤 裕史（名古屋市立大）

ES5-2　進行期メラノーマ診療
山﨑 修（岡山大）

共催：MSD 株式会社